

第13回：すべての生徒の「学び」と「笑顔」のために。教職員インクルーシブ教育研修会を開催しました（8月26日）



今回は、8月26日に校内にて実施された「教職員向けインクルーシブ教育研修会」の様子をお届けします。

インクルーシブ教育実践推進校である本校では、生徒一人ひとりの個性やニーズに寄り添った支援を行うため定期的に教職員の知識と指導力を深める研修の機会を設けています。

今回の研修では、県立麻生支援学校より2名の先生を講師としてお招きしました。実は1学期のうちから、講師の先生方には本校の実際の授業風景を見学していただいていたおり、事前準備を重ねたうえでこの日の研修を迎えました。

【研修の主な内容】

「神奈川の支援教育」や「教育的ニーズ」についての理解

「教育のユニバーサルデザイン（授業・教育環境・人的環境）」について

「ケーススタディ」具体的事例を用いたグループ演習

※本校のすべての生徒に対する効果的な支援方法の協議・アドバイスなどを学ぶ

研修では、実際の事例をもとに「生徒がどんな場面で困り感や課題を抱えているのか」「学校としてどのような具体的なアプローチができるか」について、全教職員がグループに分かれて真剣に話し合いました。講師の先生方からも専門的な視点から多くのアドバイスをいただき、今後の実践に直結する大変実りある時間となりました。

「生徒たちのために、今できる最高の支援とは何か」―。先生方は常に生徒の視点に立ち、多様な学びを支える工夫を考えています。

お忙しい中、ご準備いただき素晴らしいご講演とご指導をしてくださった麻生支援学校の先生方、本当にありがとうございました。